

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年6月3日(日)午後2時～3時30分
場 所 霞ヶ丘集会所（霞ヶ丘自治会）
参加者 35人



主な意見等

参加者 現在、東上線の上福岡駅にはエレベーター、エスカレーターが2基ずつ設置されていますが、エスカレーターは上りだけです。霞ヶ丘地区は高齢化が一番進んでいる地域であり、今後も進んでいくと思われます。大きな荷物を持っている場合にはエレベーターを利用しますが、小さい荷物であればエスカレーターでもよいかと思っています。しかし、下りエスカレーターが設置されていないため、階段を使えば使いますが、エレベーターを使わざるを得ない人もいます。下りのエスカレーターの設置について鉄道会社と協力して計画を立てていただけないでしょうか。

市 長 今までのエレベーターやエスカレーターの設置も後付けされたものですが、必要性が高い内容だと思います。

沿線の首長が集まった対策協議会で、東武鉄道株式会社に対して要望活動を行っています。ご提案いただいた内容についても、利便性の向上に向けて協議してまいります。

参加者 来年の秋にはマイナンバーカードと保険証が一本化されると聞きました、ふじみ野市でも他の市のようなトラブルは起きているのでしょうか。

市 長 残念ながら本市でも紐づけで1件、マイナポイントで2件間違いがありました。委託事業者がマイナンバーカードの手続きをご案内して

いますが、手続きを行った方が帰られた後もログイン（認証状態）の状態を保持し、次に来られた方がその状態で入力を行ってしまったことがミスの原因です。個々の方への損失の補償は委託事業者が行い、不利益を与えることは行っていません。ミスが発生したことにつきましては新聞等でも公表しています。

参加者 バスのことですが、足が悪くカート（補助車）でバスに乗りたくても、持ち上げて載せる力がないので乗ることができません。カートを押しながら乗ることができないでしょうか。知り合いの車いすの方もタクシーを頼んでいます。バスを利用できれば市役所や図書館など出かけることができ行動範囲が広がると思います。

市長 ふじみん号（市内循環ワゴン）では、車いすの方は車の後ろに乗っていただくので、ドライバーが下りてお手伝いをさせていただいていますので、カートを載せることも手伝っていただけたと思います。迷惑を掛けてはいけないとお気遣いをいただいたかと思いますが、ご利用いただければと思います。

ただし、バスは本数が少なく、コースも限定されていて行くことができない場所もありますので、運賃を半額補助するお出かけサポートタクシーをお友達と相乗りしていただくなど、ふじみん号と組み合わせるなど工夫していただければと思います。

参加者 市長が当選された当初から理念として、箱モノを作るのではなく地域の方が如何に楽しく元気に過ごせるかと話されたことを覚えています。昨年度、ふじみ野市に「ふじみ野あきんど会」ができ、メンバーとして活動しています。私たちは、市長の理念であるいつも楽しくそのようなことを考えていこう、コロナで低迷した気力を復活させようという気持ちで活動してきました。1年間ワークショップなどを行い基礎ができましたので、今後の活動を行っていく上で協力をお願いしたいと思います。

市長 昨日、埼玉縣信用金庫の支店長が来庁され、あきんど会の話をしていました。私も東口の商店街で商店を営んでいました。今は、市長として駅周辺の商店街の元気がなくなってしまったことを非常に辛く思っています。私も当時は若手でありましたが、商店会長もやらせていただきました。経営者は高齢の方が多かったので、梯子に上って提灯を飾ったりしました。若手経営者に声を掛けてみんなで頑張ってきた記憶もあります。

月日が流れ、商店街では後継者がいなくなったり、若い経営者が少なかったりして、元気が損なわれてきています。そのような中で、昨年度、あきんど会がワークショップを開催し、まちの元気を取り戻そうという気持ちで活動していることや色々な商店街の方が集まっている様子も見させていただき、非常に心強く感じました。行政としても支援を行っていく必要があると思っています。

金融機関が地域貢献として、商店街に元気をみなぎらせようという取組であることから、地元の身近なところで接して、一緒になって話して、コミュニケーションが取れる商店の存在は、今後見直しが行われていくと思っています。

参加者 地域の力が重要ということであれば、自治会などが重要になるとおもいます。加入が減ってきている現状を市としてどう考えていますか。

市長 私の基本理念として、まさに地域力が大切であると思っています。そのために加入率をどうにかしなければならぬと考えています。コロナが流行して地域活動ができなくなりました。活動するための補助金を出していますが、自治組織が高齢化しているため、若い人たちが地域力をつくるための取り組みを行っていく必要があります。行政だけではなく、自治組織と共にどのように進めるか考えていかなければなりません。加入者が増える取り組みに協力していただきたい。

参加者 URには空き室があります。そこに若い人（大学生）が入るように協力していただけませんか。

市長 そのような取り組みを他の自治体で実施しているというテレビ番組を見たことがあります。私も若い世代が増えてくることはとても良いことですので、今後の参考にさせていただきます。

参加者 以前、上福岡駅そばの踏切対策としてアンダーパスの話がありましたが、中止に伴い交付金の返還を行ったと聞きました。

市長 当時、アンダーパスの工事のために先行して用地買収を進めていました。国庫補助金を活用して進めていましたが、合併後に費用対効果の検証を行った結果、計画は中止となりました。私が市長になった際、中止になったままの状況でしたので、関東財務局に、当該地に災害に対応できる冠水対策施設をつくることを新たに提案いたしました。国

もその計画を了承したことから、補助金の返還は行わずに済みました。

参加者 そのことは知りませんでした。行政がもう少し説明するべきではないですか。

市長 確かにその通りです。情報の発信は丁寧にしていくべきだと思います。

例えばですが、上福岡駅東口の駅前は昭和20年代に都市計画決定されましたが、これまで何もしてきませんでした。私は市長就任後、すぐに対応しなければならないと考え、既に立地していた店舗と話し合いをし、今の状態まで進めてきました。

アンダーパスの工事も当時60億円かかると言われていました。現在ならもっと多額の費用がかかります。100億円かかるとすれば、ふじみ野市の年間の予算の4分の1です。先ほども言いましたが、費用対効果を考えたら、他に方法はないか、例えばですが、線路の下を人と自転車だけが通れる自由通路を造るということも一つの方法であると考えます。

公共施設も新たな建物を造るのではなく、長寿命化を図り延命を図っています。人口が減れば税収は落ちますから、費用対効果を常に考えて市政を進めています。

参加者 ここに引っ越して、10年は経っていませんが、児童虐待が疑われる悲鳴を聞いたことがあります。ふじみ野市には児童相談所も保健所もありません。児童相談所や保健所があれば、きめ細やかな対応ができるのではないのでしょうか。

市長 児童相談所も保健所も埼玉県が管轄しています。ふじみ野市は、6市1町を管轄している朝霞保健所のエリアとなります。10万人規模の自治体には保健所は設置されていない状況です。

児童相談所も管轄内で案件が多くて対応できていない状況にあります。